

あ翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひとぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上木
安以字衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789,.,!/?*&%

38Q / 50H

或曇った冬の日暮である。
私は横須賀発より二等客
車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待つて

22Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発より二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待つていた。どうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は

16Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
より二等客車の隅に腰を下して、ぼんや
り発車の笛を待つていた。どうに電燈の
ついた客車の中には、珍らしく私の外に
一人も乗客はいなかった。外を覗くと、
うす暗いプラットフォオムにも、今日は
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

28Q / 38H

或曇った冬の日暮である。私は横
須賀発より二等客車の隅に腰を下
して、ぼんやり発車の笛を待つて

20Q / 30H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発より二
等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を
待つていた。どうに電燈のついた客車の中には、
珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォオムにも、今

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発より二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待つていた。どうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は